

F 題名	論語
F 中心人物	孔子
C 作者? (だいたい可)	孔子の死語、弟子達が、孔子や高弟の言行を記録した。
A 孔子の生きた時代	春秋時代
A 世界三大聖人 (三聖人) (人名・教え)	①釈迦 (仏教) ②孔子 (儒教・儒学) ③イエス (キリスト教)
C 漢文の種類? (4)	①白文 (漢字だけのもの) ②訓読文 (返り点と送り仮名がついたもの) ③書き下し文 ④口語訳・現代語訳
D 代表的な返り点 (4)	レ点 一・二点 一・レ点 上・下点 送り仮名
D 訓読文で、漢字の右下にカタカナで書かれているもの	
A 文末の「や (乎)」	①詠嘆 ((なんて) ~だろうか) ②疑問 (~だろうか?) ③反語 (~だろうか、いや、~ではない) ※「学びて。。。」の「乎」は、①と取る先生と③と取る先生に分かれます。
B 置き字 (何か/2)	書き下すときに読まない漢字/而・矣 ※「学びて。。。」の「乎」を置き字とみる先生もいます。
C 「故きを。。。」から生まれた熟語・読み・意味	温故知新 (おんこちしん) 昔のことをよく学び、そこから新しい知識や道理を得ること
F 「子」(意味/誰を指すか)	先生/孔子
書き下す時にひらがなに直す漢字 (B: 1個・A: 2個+※)	①日本語の助詞・助動詞に該当する漢字 ※「之」(これ)・「亦」(また): 漢字のまま書き下す場合と、ひらがなに直す場合があります。 (中学・高校では、厳密な使い分けはできなくて大丈夫ですが、教科書はひらがなにしているので、今回はひらがなにしてください。)
C 会話文の終わりの送り仮名「〜ト」	②再読文字の二度目の読み 「〜。」と。(かぎ括弧の外に置く。「。」は2個)

【全てひらがなで書き下し、現代語訳を書きなさい。】

- F 子曰ハク しいはく
先生がおっしゃるには
- F 不ズ亦また説バシカク乎ヤ またよろこばしからずや
なんとうれしいことではないか
- D 学ビテ而レ不レ思ハク則チ罔シ まなびておもはざればすなはちくらし
よく考えて研究しないと、物事の道理を明確に
つかむことができない
- D 不レ知カ好ム之ヲ者ニ これをこのむものにしかず
これを好む者には及ばない
- A 未ダ知ラ生ヲ いまだせいをしらず（未だ生を知らず）
まだ生（とは何か）がわからない

C 全文を書き下し文にでき、且つ読めるようにせよ。

B 全文を現代語訳できるようにせよ。

D～F 全文の、書き下し文・読み・現代語訳を、なるべく覚えて下さい。

→ この暗プリ（自分のランク以下のもの）と塾・学校ワークを押さえた後に、一文・一語でも多く、書き下し・読み・現代語訳をできるようにしてください。

【現代語訳例】最終的には、あなたの中学に合わせてください

先生がおっしゃるには、「学び、機会があるたびに復習して体得するのは、なんとうれしいことではないか。学友が遠いところから訪ねてきてくれるのは、なんと楽しいことではないか。世の中の人が認めてくれなくても、不平や不満を抱かないのは、なんと徳の高い、理想的な人格者ではないか。」と。

先生がおっしゃるには、「過去の事柄や学説などを重ねて研究し、新しい意義や知識が発見できるようになれば、師となる資格があるものだ。」と。

先生がおっしゃるには、「学んだことをよく考えて研究しないと、物事の道理を明確につかむことができない。自分の考えだけに頼って、広く先人の意見や知識に学ばないと、危険である。」と。

先生がおっしゃるには、「何かについて詳しく知っている人は、それを好きな人には及ばない。それを好きな人は、それを楽しんでいる人には及ばない。」と。